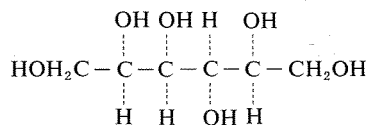


47 D-ソルビトール

D-Sorbitol

別名：D-ソルビット



$\text{C}_6\text{H}_{14}\text{O}_6$: 182.17

1. 試験法の概要

食品中のD-ソルビトールは、ガスクロマトグラフィーにより定量する。

植物中には、天然のD-ソルビトールが広く分布している。したがって、検体中にこれらの食品を素材として含有する場合には、定量値は素材由来のD-ソルビトールと添加されたものとの合計値である。

2. 試験法（ガスクロマトグラフィー）

(1) 検体の採取と試料の調製

(2) 試料溶液の調製

(3) 試料液の調製

(4) 検量線用標準液の調製

(5) 測定法

上記の(1)~(5)については、44 キシリトールのガスクロマトグラフィーによる試験法を準用する。ただし、「キシリトール」を「D-ソルビトール」とする。また、内部標準液を、試薬・試液記載のものに変更する。

試薬・試液

1. アセトン：[残留農薬試験用]
2. エチルエーテル：[残留農薬試験用]
3. キシリトール：市販品を用いる。
4. 内部標準液：キシリトールを 60℃で減圧乾燥した後，400mg を量り，蒸留水を加えて溶かして 100ml とする¹⁾。
5. ピリジン：[特級]
6. 無水ピリジン：ピリジンに水酸化ナトリウム結晶（ペレット状）を入れる。
7. 無水硫酸ナトリウム：硫酸ナトリウム（無水）[特級]

[注]

- 1) あらかじめ，試料にキシリトールが含まれていないことを確認してから内部標準液を加える。
キシリトールが含まれていた場合は，エリスリトールを内部標準とする。